



SHINJI
HIGUCHI

TAKAMI
AKAI

KOKI
AKIYOSHI

JURY



YUKI
UCHIDA

SEIICHI
SAITO

SHOHEI
SHIGEMATSU

COMMITTEE



ERIKA
NAKAGAWA

RYOICHI
KONDO

TAKAYOSHI
TOYODA

提案募集



応募登録締切 2023年5月10日 困
応募受付締切 2023年8月10日 困

mirairebornsumai.jp

ミライREBORNスマイ プロジェクト

募集部門 ①学生・一般の部 ②建築家・デザイナーの部
賞・副賞 最優秀賞 賞碑・200万円(各部門1点) / 優秀賞・50万円(各部門2点)
佳作・30万円(各部門4点) / 特別賞・50万円(部門を問わず全体で2~3点程度)

審査委員
樋口真嗣(審査委員長 | 映画監督・特技監督)
赤井孝美(ゲームクリエイター・アニメプロデューサー)
秋吉浩気(建築家・メタアーキテクト)
内田友紀(都市デザイナー)
齋藤精一(クリエイティブディレクター)
重松象平(建築家)
中川エリカ(建築家)
近藤良一(大阪の住まい活性化フォーラム会長)
豊田崇克(一般社団法人ソフトウェア協会副会長)

主催 公益社団法人全日本不動産協会 共催 公益社団法人大阪府建築士会
後援 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 / 国土交通省 / 一般社団法人ソフトウェア協会 / 一般社団法人総合デザイナー協会 / 大阪の住まい活性化フォーラム
協力 公益社団法人日本建築士会連合会 / 一般社団法人日本建築学会 / 一般社団法人日本建築協会 / 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会 / 公益社団法人日本建築家協会 / 一般社団法人日本インテリアプランナー協会

MIRAI
REBORN
SUMAI
PROJECT

本プロジェクトでは、入賞作品の中から3DCG映像等の作品を共創（翻案・制作）し、2025年大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」での展示・公開を予定しています。

募集部門・応募資格

- ① 学生・一般の部／応募資格はとくになし。大学、大学院修士・博士課程、短期大学、専修学校、高等専門学校、その他の就学者を含む。
- ② 建築家・デザイナーの部／建築・都市デザイナー、グラフィックデザイナー、ビジュアルアーティストなど幅広いジャンルに属するプロフェッショナルのクリエイター。

ミライREBORNスマイプロジェクト

スケジュール

応募登録期間 2023年1月12日 困— 2023年5月10日 困

応募受付期間 2023年6月12日 固— 2023年8月10日 困

※入賞作品は、2023年9月頃に選考予定。

※最優秀賞には、佐久間靖 作のガラスアート「Jump」を賞碑として授与。

●詳しくはオフィシャルサイト（mirairebornsumai.jp）をご覧ください！

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）は、2025年4月13日～10月13日の間、大阪市臨海部の夢洲で開催される国際博覧会です。「大阪ヘルスケアパビリオンNest for Reborn」は、大阪府・大阪市が2025年日本国際博覧会へ出展するパビリオンです。「大阪ヘルスケアパビリオンNest for Reborn」のテーマは「REBORN」（「人は生まれ変わる」「新たな一歩を踏み出す」などの意味）です。このテーマのもと、「健康」という観点から、2050年以降のミライの都市生活を、リアルとバーチャルの両面で展示する計画となっています。「ミライREBORNスマイプロジェクト」の主催者公益社団法人全日本不動産協会は、「大阪ヘルスケアパビリオンNest for Reborn」の出展参加者・スペシャルパートナーです。コンペの入賞作品から、入賞者の協力のもと、展示用の映像作品を共創（翻案・制作）し、リアルまたはバーチャルで「大阪ヘルスケアパビリオンNest for Reborn」に展示する計画を進めています。

ミライREBORNスマイプロジェクト — 医・食・住 でミライの健康な都市生活 —

時は2050年、ポストSDGsの世界です。DX(Digital Transformation)もますます加速し、都市構造や交通システムなどが進化していく中で、私たちは心身ともに健康であるWell-beingな生活やそれを包む空間を手にすることができているのでしょうか。多様化した個人の価値観と科学技術の進展が、家族像、ライフスタイルを変革させ、現代の既存概念を超越した飛躍的なイノベーションによるスマイはどのようなかたちで出現するのでしょうか。2025年大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」のテーマ、REBORNを具現化する「ミライREBORNスマイプロジェクト」は、未来社会を担う子どもたちへのメッセージです。将来への夢や希望、魅力の感じられる都市や住空間システム、生活像を描いて下さい。立地環境は地球上に限らず任意に設定し、集まって暮らす、孤独を楽しむ、多拠点を移動して暮らすなどのライフスタイルをイメージし、子育て、健康増進、療養・介護や趣味などを担う共助やコミュニティの社会システムも自由に想定してご提案下さい。入賞作品の中から、2025年大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」において、同パビリオンの出展参加者である公益社団法人全日本不動産協会が展示用の映像等のコンテンツを制作することを予定しています。来館者を一瞬で魅了し、感動が心に残り続けるような、未来に開花する映像とコンセプトの提案を期待します。



樋口真嗣（審査委員長 | 映画監督・特技監督）
主な監督作品は、「シン・ゴジラ」（2016）、「シン・ウルトラマン」（2022）など



赤井孝美（ゲームクリエイター、アニメプロデューサー）
米子ガイナックス代表取締役／世界初の育成シミュレーションゲーム「プリンセスメーカー」を制作



秋吉浩気（建築家・メタアーキテクト）
建築テック系スタートアップVUILD創業、代表取締役CEO／メタアーキテクトと自らを位置づけ、設計から施工まで徹底したデジタル化による建築を推進（写真：平岩享）



内田友紀（都市デザイナー）
リ・パブリックシニアディレクター、YET代表／愛知県立大学非常勤講師／グッドデザイン賞審査委員／内閣府地域活性化伝道師／大阪・関西万博Expo Outcome Design Committee



齋藤精一（クリエイティブディレクター）
パノラマティクス主宰／2020年ドバイ万博日本館クリエイティブ・アドバイザー／2025年大阪・関西万博People's Living Labクリエイター



重松象平（建築家）
OMAのパートナーおよびニューヨーク事務所代表／九州大学大学院人間環境学研究院教授、「環境」と「社会実装」をテーマにしたBECATセンター長（写真：Julian Cassidy）



中川エリカ（建築家）
中川エリカ建築設計事務所主宰／IA新人賞、ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展国別部門特別表彰、吉岡賞受賞



近藤良一（大阪の住まい活性化フォーラム会長）
KSグループホールディングス代表取締役社長／全日本不動産協会大阪本部顧問／「大阪の住まい活性化フォーラム」会長、空き家などの既存住宅の価値向上と不動産流通の活性化に力を注ぐ



豊田崇克（一般社団法人ソフトウェア協会副会長）
ネクストウェア代表取締役社長／一般社団法人ソフトウェア協会の地域デジタル推進委員会委員長

